

人の命と生活を守るという揺るぎない使命

消防庁は、社会の変化や新技術の登場に対応してあらゆる視点から火災の危険性を検証し安全かつ豊かな暮らしの実現に貢献しています。

Profile

千葉 周平

ちば しゅうへい

消防庁予防課違反処理対策官

平成16年 入庁 消防庁防災情報室
 平成17年 福岡市消防局
 平成19年 消防庁国民保護運用室 運用・テロ対策係長
 平成21年 消防庁予防課予防係長
 平成23年 千葉市消防局予防部指導課長
 平成25年 消防庁消防技術政策室課長補佐
 平成26年 現職



災害時には、災害対応に全力を投じます。時々刻々と変化する災害情報を見ながら、官邸との情報連絡を行う業務を担当しています。



全国の消防本部と連携し地域の安心・安全を守る

消防法では、一定の条件を満たす建物に対して消防設備の設置などの防火対策が義務づけられています。これは建物利用者や地域の方々の安全な日常を維持するために不可欠なものであり、過去の火災事例では防火対策の法令違反が被害の拡大につながっている場合も少なくありません。このため、消防法令違反の建物関係者に対してはその重要性を根気よく説明し、適切に防火対策を行い、適法な状態で建物を利用していただく必要があります。

私の役割は、全国の消防本部の方々から是正指導や命令などの行政処分を適切に実施できるように、体制の整備や技術・ノウハウに関する教育訓練などの支援を行うことです。相談を受けた消防本部から、後日「違反が是正されて安全な建物になりました」という連絡をいただくと、現場の方々との連携し、安心・安全な地域づくりに貢献できたことを実感します。



安全対策を基準化することで社会はさらに豊かになる

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くの人々が競技場や駅・空港、宿泊施設を利用することが予想されます。これらの施設で火災や地震が発生した場合、日本語を理解できない外国人来訪者や障がい者など多様な利用者に配慮し、適切に避難誘導を行うことが重要です。そこで現在、外国人や身体に障がいを持つ方々のニーズを把握すると同時に、関連施設や設備メーカー、地震・火災の専門家や消防機関などと意見を交換しながら、必要なガイドラインの作成を進めています。災害時に発生するリスクの想定や防火・防災対策の検証など、理系の素養や思考力が求められる場面は多く、大学の専攻に関わらず幅広い知識・技術を学ぶ機会があります。また、世の中のニーズに応じて新しい技術が生まれる中で、人々が広く活用できるように安全のための制度や仕組みを整備し、便利で豊かな社会の実現に貢献できる点もこの仕事の魅力です。そして、「人の命と生活を守る」という仕事の意義を仲間たちと共有しながら、その任務に一途に生きられることが消防庁理系行政官の醍醐味だと感じています。

一日の仕事の流れ

9:20

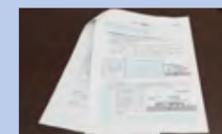
登庁

10:00~12:00



オリンピック・パラリンピックの外国人来訪客にむけた避難誘導ガイドラインの検討会にむけた資料づくり

13:00~14:30



福祉施設や診療所などにおける火災時の訓練実施マニュアル検討のため、専門家と火災シミュレーション及び火災実験の内容について相談

14:30~14:45



仕事の合間にコーヒータイム。課の皆とは、休日の出来事や家族の話で盛り上げます

18:00~18:30



今後の業務について係長とミーティング

18:30

帰庁

ここだけの話

高校生の頃に阪神淡路大震災を経験し、大学・大学院では土木工学を専攻しました。他省庁も訪問する中で最終的に消防庁に決めたのは、自分が学んだ素養を活かして人の命や生活を守るという仕事に魅力を感じたからです。